

## 集約後の大江山農村環境改善センターの施設種別について

### 1. 現状

- 農改センターは、貸し館機能が主となっており、本来の農改センターの使い方ではなく、実態はコミュニティセンターと同様の利用形態となっている。また、地域コミュニティ協議会の事務室があることで、地域のコミュニティ活動の拠点となっている。
- 江南区内の亀田地区と曾野木地区において、コミュニティ活動の拠点となる施設が「コミュニティセンター」として整備された。
- WSにおいて『「農村環境改善センター」という施設名が、農村の人しか使えないと思ってしまうので変えた方がよい。』など名称についてのご意見もいただいている。

### 2. 施設の設置目的

- 農村環境改善センター ※農水省の補助金を用い整備した施設  
農村の生活環境と農業生産基盤の整備を一体的に推進し、もつて農業及び農村地域の健全な発展を図る地域活動の中心的施設(市内 6 施設)
- コミュニティセンター  
地域住民の連帯感を高め、住みよい地域社会づくりの推進に資するコミュニティ活動の中心的施設(市内40施設)

### 3. 方向性

- 集約後の施設については、これまでの活動、利用実態、施設機能などを踏まえ、整備に合わせ、適切な施設種別を検討していく。